

并隨化矣時下秋冷相催卷文
 皆二擇益之即健勝大度之至之
 奉命矣偶者少去義海鏡無事
 暇月二十九日在如之當之港
 以上隨化矣尤之仰度洋之奇怪
 奇之執二板之野之四女之州龍床
 物矣據其是日之也健勝曰之
 隨一甲矣故也余事即事也
 下之甲矣其左漸一夜之政新也
 岸田舍之品之矣事在木
 何事之也之甲矣據其是日之
 以之休隨之也隨一也之也



師は去りて感服去りて一事は友
 又セーエの海防の行を届きたりて
 幸に同行者中陸軍砲兵少佐
 の山口勝兵あり後々徳明を厚
 考申す、考は今迄の次第に明
 朝り想ふ所に出で同地を一旦訪ふ
 へ定あり山田銀事の好信を尋
 ちてとと訪ふ、巴尾にこそ又た二三
 小見物致す貴博者、ゴウゴウ所
 へは多下十月七八日の夜に訪ふ
 勿論宿上、功新一番攻身師製
 知可申上貴博貴先は海防、各
 の師制念也、妙斯、師、師
 ぬはらすし、マロ、マロ
 吉谷久綱
 古限泊船図下

(via America)



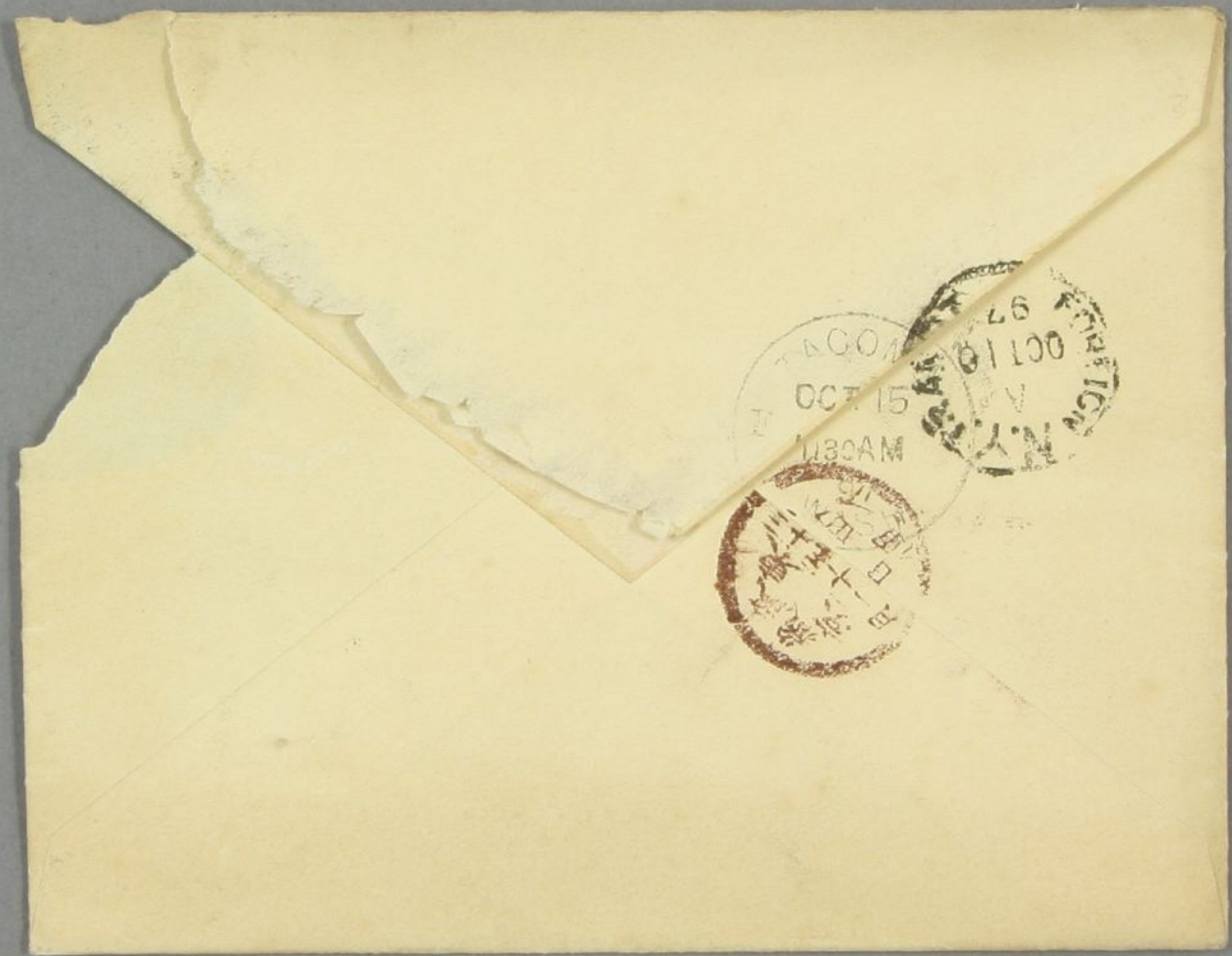
H. E. Count Okuma,
The Depart. of Foreign Affairs,
Tokyo,
Japan.

大日本東京外務大臣官邸

大隈伯官邸下

親友





NEW YORK
OCT 15
1130AM

NEW YORK
OCT 16
1100

SHANGHAI
OCT 15
1130AM